

CA Clarity™ PPM

PMO アクセラレータ リリース ノート - オンプレミス

リリース 03.2.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受ければ本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または(ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト
[\(http://www.ca.com/jp/support/\)](http://www.ca.com/jp/support/) をご覧ください。

目次

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ	7
リリース 3.2 の新機能	8
新しいポートレットと強化されたポートレット	9
属性の上書き	12
ビュー保護	12
サポート対象外となったレポート	19
サポート対象外となったサブオブジェクトおよびポートレット	20
サポートされなくなったアクセス グループ	21
第 2 章: インストール情報	23
アドインのインストール	23
自動的に適用されるアドイン項目	25
アドイン項目の確認	32
アドイン項目の適用	34
CA ベストプラクティス アクセラレータ	36
PMO アクセラレータのサンプルデータのインストール	37
第 3 章: 認定およびサポートされているバージョン	39
第 4 章: ローカライゼーション	41
第 5 章: ドキュメント	43
第 6 章: 追加リソース	45
既知の問題	45
テクニカルサポートへのお問い合わせ	45
第 7 章: アップグレード情報	47
PMO リリース 3.1 から PMO リリース 3.2 へのアップグレード	47
PMO v3.0 からリリース 3.1 へのアップグレード	58

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ

CA Clarity PMO アクセラレータ リリース 3.2 アドイン（PMO アクセラレータ）のリリース ノートへようこそ。このアドインは、CA Clarity Project & Portfolio Manager (CA Clarity PPM) リリース 13.2 に基づいています。このドキュメントは、アドインの使用を開始する場合に役立ちます。

リリース 3.2 の新機能

このバージョンでは、以下の新機能および拡張機能を利用できます。

- メニューで使用可能な新しい [ポートフォリオダッシュボード] ページ。このページには、すべてが新しいポートフォリオプロバイダに基づいた、次の 15 個の新しいポートレットが含まれています： [ポートフォリオコスト] 、 [ポートフォリオのコストと利益の分析] 、 [ポートフォリオロール] 、 [ポートフォリオロール分析] 、 [全体的な健全性別のポートフォリオコスト] 、 [ゴール別ポートフォリオ投資数] 、 [ゴール別ポートフォリオ計画コスト] 、 [ゴール別ポートフォリオロール需要] 、 [ゴール別ポートフォリオ計画 NPV] 、 [タイプ別ポートフォリオ投資数] 、 [作業ステータス別ポートフォリオ投資数] 、 [ウォーターライン別ポートフォリオ投資数] 、 [承認別ポートフォリオ投資数] 、 [ポートフォリオ資本および業務コスト] 、および [ポートフォリオ資本および業務コスト分析] 。
- ポートフォリオに関するダッシュボードビューとして選択できる新しい [PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード] ページ。このページには、すべてが新しいポートフォリオプロバイダに基づいた、次の 10 個の新しいポートレットが含まれています： [ウォーターライン別計画コスト] 、 [ウォーターライン別ロール需要] 、 [投資コストとロール需要] 、 [投資スケジュール] 、 [ロールのキャパシティと需要] 、 [期間別投資計画] 、 [期間別投資コスト] 、 [投資会計要約] 、 [資本および業務コストの要約] 、および [資本および業務予算 vs 予測] 。また、次の 3 つの新しい追加のポートレットも設定で追加できます： [ゴール別計画コスト] 、 [ゴール別ロール需要] 、および [ロールのキャパシティと需要ヒストグラム] 。
- CA Clarity PPM リリース 13.2 で導入された新しいコストフィールドを表示するように設定された投資ビュー： [計画資本コスト] 、 [計画資本コスト (%)] 、 [計画業務コスト] 、 [計画業務コスト (%)] 、 [予算資本コスト] 、 [予算資本コスト (%)] 、 [予算業務コスト] 、 [予算業務コスト (%)] 、および [コストタイプ] 。
- PMO アクセラレータ リリース 3.1 で導入された [作業ステータス] ルックアップフィールドを表示するように設定された投資ビュー。このフィールドは、投資の要約プロパティページに表示されるように設定されています。 [作業ステータス] フィールドには、 [要求済み] 、 [アクティブ] 、 [保留] 、 [キャンセル済み] 、または [完了] が値として含まれます。
- CA Clarity PPM リリース 13.1 で導入された [未割り当てタイムシートタスクの追加を禁止] チェックボックスフィールドを表示するように設定されたプロジェクトビュー。このフィールドは、プロジェクトの [設定] プロパティページに表示されるように設定されています。
- CA Clarity PPM リリース 13.2 で導入された新しい [コストタイプ] フィールドを表示するように設定されたタスクビュー。このフィールドは、タスクの [設定] プロパティページに表示されるように設定されています。

- CA Clarity PPM リリース 13.2 で導入された新しい [コストタイプ] フィールドを表示するように設定された [コスト計画の詳細] ビュー。このフィールドは、コスト計画と予算の詳細のプロパティ、フィルタ、およびリストに表示されるように設定されています。
- 再設計された [リスク] 、 [問題] 、および [変更依頼] ビュー。
- 必要に応じて新しいダッシュボードアイコンを含めることによって、プロパティやダッシュボードページへのナビゲーションを簡略化するように再設計されたポートレットおよびリストビュー。
- 新しい [マイ タイムシート] ポートレット。
- ポートレット クエリのパフォーマンス向上。
- CA Clarity PPM リリース 13.2 で使用可能なアクセス権を含む新しいアクセスグループ： [PMO エグゼクティブ ビューア] 、 [PMO エグゼクティブ ビューア拡張] 、 [PMO 会計管理者] 、 [PMO アイデア作成者] 、 [PMO アイデアレビュー担当者] 、 [PMO 投資作成者] 、 [PMO 投資ビューア拡張] 、 [PMO ポートフォリオマネージャ] 、 [PMO プログラムマネージャ] 、 [PMO プロジェクト作成者] 、 [PMO プロジェクトマネージャ] 、 [PMO プロジェクトマネージャ拡張] 、 [PMO プロジェクトビューア] 、 [PMO リソース管理者] 、 [PMO リソースマネージャ] 、 [PMO リソースマネージャ拡張] 、 [PMO システム管理者] 、 [PMO チームメンバ] 、 [PMO タイムシート管理者] 、および [PMO ベンダー管理] 。
- 実稼働以外の環境でのオプションのインストールとしてアドインに含まれている新しいサンプルデータ。サンプルデータは、製品のデモンストレーションで使用される販売データセットを反映させるために、このリリースで広範囲にわたって更新されました。サンプルデータは、テストまたは開発環境でアドインページ、ポートレット、およびビューに入力されます。
- 18 言語の全面的なローカライゼーションサポート。

新しいポートレットと強化されたポートレット

リリース 3.2 では、以下のポートレットが追加または強化されました。これらのポートレットの詳細な説明については、 [PMO アクセラレータ製品ガイド] を参照してください。

ポートレット名	新規	強化
トランザクションタイプ別実績値		X
資本および業務予算 vs 予測	X	
資本および業務コストの要約	X	

新しいポートレットと強化されたポートレット

ポートレット名	新規	強化
コストとスケジュールの概要		X
現在の問題のリスト		X
投資コストとロール需要	X	
期間別投資コスト	X	
投資会計要約	X	
期間別投資計画	X	
投資スケジュール	X	
問題管理		X
マイルストーン		X
マイ タイムシート	X	
未確定の見積もりのレビュー		X
ゴール別計画コスト	X	
プロジェクトタイプ別計画コスト（プロジェクト計画コスト）		X
ウォーターライン別計画コスト	X	
ポートフォリオ資本および業務コスト分析	X	
ポートフォリオ資本および業務コスト	X	
ポートフォリオのコストと利益の分析	X	
全体的な健全性別のポートフォリオコスト	X	
ポートフォリオコスト	X	
ポートフォリオダッシュボードフィルタ	X	
承認別ポートフォリオ投資数	X	
ゴール別ポートフォリオ投資数	X	
タイプ別ポートフォリオ投資数	X	
ウォーターライン別ポートフォリオ投資数	X	
作業ステータス別ポートフォリオ投資数	X	
ポートフォリオ投資ダッシュボードフィルタ	X	

ポートレット名	新規	強化
ゴール別ポートフォリオ計画コスト	X	
ゴール別ポートフォリオ計画 NPV	X	
ポートフォリオ ロール分析	X	
ゴール別ポートフォリオ ロール需要	X	
ポートフォリオ ロール	X	
ポスト済みトランザクション レビュー		X
プログラムマネージャコストダッシュボード		X
プログラムマネージャスケジュールダッシュボード		X
フェーズ別プロジェクトコスト		X
リソース別プロジェクトコスト		X
タスク別プロジェクトコスト		X
プロジェクトライフサイクルのレビュー		X
プロジェクトマネージャコストと工数ダッシュボード		X
プロジェクトスケジュール		X
OBS別のプロジェクトKPI		X
ロールのキャパシティと需要	X	
ロールのキャパシティと需要ヒストグラム	X	
ゴール別ロール需要	X	
ウォーターライン別ロール需要	X	
リスク管理		X
スケジュールと進捗ステータス		X
スケジュールパフォーマンスの詳細		X
スタッフ割り当て		X
チームメンバーオーガナイザ		X

属性の上書き

以前のバージョンの PMO アクセラレータによってインストールされた属性は、PMO アクセラレータ の上位バージョンへのアップグレード時に上書きされます。名前、計算属性の式、または表示マッピングを変更して、これらの属性を設定している場合、設定が上書きされるため、アップグレード後に手動で再度設定を行う必要があります。これらの属性は、投資、プロジェクト、およびステータス レポート オブジェクト上にあります。アップグレード時に上書きされる項目の一覧については、「[自動的に適用されるアドイン項目 \(P. 25\)](#)」を参照してください。

ビュー保護

以前に Studio を使用して PMO アクセラレータ のビュー、フィルタ、またはポートレットを設定した場合は、これらの設定はそのまま残ります。インストール時に新しい内容または変更された内容で上書きされません。既存の設定に手動で変更を加えるか、新しい内容を適用するかを決定できます。

このアドインによってインストールされたビューの変更を適用する方法については、「[アドイン項目の適用 \(P. 34\)](#)」を参照してください。

以下の表に、PMO v3.0、PMO リリース 3.1、および PMO リリース 3.2 で変更されたすべてのビューを示します。この情報で、既存のビューに手動で変更を加えるか、新しいビューを適用するかを決定できます。

重要: PMO リリース 3.2 が（以前のバージョンのアドインからのアップグレードではなく）新規インストールである場合は、PMO v3.0、PMO リリース 3.1、PMO リリース 3.2 の各列にリストされているすべてのビューが取得されます。複数の列に X が存在する場合は、最新のリリースのビューが取得されます。

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
アプリケーション	アプリケーションのプロパティ	X		X
	アプリケーションリスト	X		X
	アプリケーション フィルタ	X		
資産	資産のプロパティ	X		X
	資産リスト	X		X

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
	資産フィルタ	X		
割り当て	割り当てるプロパティ	X		
	タスク割り当てるリスト	X		
ベースライン	ベースラインリビジョンのプロパティ	X		
	ベースラインリビジョンリスト	X		
	ベースラインリビジョンフィルタ	X		
利益計画	利益計画プロパティ	X		
	利益計画リスト	X		
	利益計画フィルタ	X		
利益計画の詳細	利益計画の詳細プロパティ	X		
	利益計画の詳細リスト	X		
	利益計画の詳細フィルタ	X		
変更	変更プロパティ		X	
	変更リスト		X	
	変更フィルタ		X	
コスト計画	コスト計画プロパティ	X	X	X
	コスト計画リスト	X		
	コスト計画フィルタ	X		
	予算リスト	X		
	予算フィルタ	X		
コスト計画の詳細	コスト計画の詳細のプロパティ	X		X
	コスト計画の詳細リスト	X		X

ビュー保護

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
	コスト計画の詳細フィルタ	X		X
	予算計画の詳細フィルタ	X		X
総勘定元帳配置	総勘定元帳配置借方プロパティ	X		
	借方ルールリスト	X		
	借方ルールフィルタ	X	X	
	標準ルール借方プロパティ	X		
	標準ルールリスト	X		
	標準ルールフィルタ	X		
総勘定元帳配置	間接費ルールの詳細プロパティの詳細	X		
	間接費ルールの詳細リスト	X		
	間接費ルールの詳細フィルタ	X		
	借方ルールの詳細リスト	X		
	標準ルールの詳細リスト	X		
アイデア	アイデアのプロパティ	X		X
	アイデアリスト	X		X
	アイデアフィルタ	X		
問題	問題のプロパティ		X	
	問題リスト		X	
	問題フィルタ		X	
	関連問題リスト		X	
他の作業	他の作業プロパティ	X		X

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
他の作業リスト	X		X	
他の作業フィルタ	X			
ポートフォリオ	ポートフォリオのプロパティ	X		削除済み
	ポートフォリオのリスト	X		削除済み
	ポートフォリオ フィルタ	X		削除済み
	ポートフォリオ子のリスト	X		削除済み
	ポートフォリオ子 フィルタ	X		削除済み
製品	製品のプロパティ	X		X
	製品リスト	X		X
	製品フィルタ	X		
プロジェクト	プロジェクトのプロパティ	X	X	X
	プロジェクトリスト	X		X
	プロジェクト フィルタ	X		
	プログラムのプロパティ	X		X
	プログラムリスト	X		X
	プログラム フィルタ	X		
	担当プロジェクト	X		X
	サブプロジェクト選択リスト	X		
	サブプロジェクト選択 フィルタ	X		

ビュー保護

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
	プロジェクトテンプレートフィルタ	X		
	プロジェクトリリースフィルタ	X		
	プロジェクト要件フィルタ	X		
リソース	リソース労働プロパティ	X		
	リソース備品プロパティ	X		
	リソース資材プロパティ	X		
	リソース経費プロパティ	X		
	ロールの労働プロパティ	X		
	ロールの備品プロパティ	X		
	ロールの資材プロパティ	X		
	ロールの経費プロパティ	X		
	リソースリスト	X		
	リソースフィルタ	X		
	リソースの選択リスト	X		
	リソース選択リスト	X		
	リソースファインダリスト	X		
	部門リソースリスト	X		
	リソースの選択フィルタ	X		

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
	リソース選択フィルタ	X		
	リソース フайнダ フィルタ	X		
	部門のリソース フィ ルタ	X		
リソース貸方	リソース貸方	X		
	リソース貸方リスト	X		
	リソース貸方フィルタ	X		
リソース貸方詳 細	リソース貸方詳細リスト	X		
リスク	リスクのプロパティ		X	
	リスクリスト		X	
	リスク フィルタ		X	
	関連リスクリスト		X	
サービス	サービス プロパティ	X		X
	サービスリスト	X		X
	サービス フィルタ	X		
	サービス加入リスト	X		
	サービス加入フィルタ	X		
	サービス加入リスト (追加)	X		
	サービス加入フィルタ (追加)	X		
ステータス レ ポート	ステータス レポート のプロパティ	X	X	X
	ステータス レポート リスト	X		X
	ステータス レポート フィルタ	X	X	

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
タスク	タスクのプロパティ	X		X
	タスクリスト	X		
	タスク フィルタ	X		
	関連付けタスクリスト	X		
	ガントリスト	X		
	タスクリソース稼働 ステータスリスト	X		
	プロジェクト要件タスクリスト	X		
	タスクの選択リスト	X		
	関連付けタスクフィルタ	X		
	ガントフィルタ	X		
	タスクリソース稼働 ステータス フィルタ	X		
チーム	スタッフ メンバのプロパティ	X		
	プロジェクトチーム スタッフリスト	X		
	プロジェクトチーム 詳細リスト	X		
	チームスタッフリスト (投資)	X		
	チーム詳細リスト (投 資)	X		
	リソース配置リスト	X		
	リソース配置詳細リスト	X		
	チーム選択リスト	X		

オブジェクト名	ビュー	PMO v3.0	PMO リリース 3.1	PMO リリース 3.2
プロジェクト チーム フィルタ	プロジェクト チーム フィルタ	X		
チーム フィルタ	チーム フィルタ	X		
リソース配置 フィルタ	リソース配置 フィルタ	X		
リソース選択 フィルタ	リソース選択 フィルタ	X		

サポート対象外となったレポート

PMO アクセラレータに含まれているレポートが終了しているため、PMO アクセラレータ リリース 3.1 および リリース 3.2 から削除されます。PMO の以前のバージョンからアップグレードする場合は、Clarity ソリューションパックで提供されている新バージョンのレポートを使用し、PMO アクセラレータ レポートの使用は中止することをお勧めします。

以下のレポートは、PMO アクセラレータ リリース 3.1 および リリース 3.2 から削除されました。これらはサポートされなくなりました。

- キャパシティ vs 需要(リソース別) (ID : RPT_PMO_Cap_vs_DemandByRes)
- キャパシティ vs 需要(ロール別) (ID : RPT_PMO_Cap_vs_DemandByRole)
- プログラム スケジュール レビュー (ID : RPT_PMO_Prog_Sched_Review)
- プロジェクトストーリーボード (ID : RPT_PMO_Proj_Storybd)
- リソース利用可能時間 (ID : RPT_PMO_Res_Availability)
- リソース予測稼働ステータス (ID : RPT_PMO_Res_Forecast_Util)
- リソース予測稼働ステータス詳細 (ID : RPT_PMO_Res_Forcst_Util_Det)

サポート対象外となったサブオブジェクトおよびポートレット

以下のサブオブジェクトおよび関連するポートレットは、PMO アクセラレータ v3.0、リリース 3.1、およびリリース 3.2 から削除されました。PMO の以前のバージョンからアップグレードしている場合は、これらのオブジェクトおよびポートレットを引き続き使用できます。ただし、サポートはされません。

- プログラムマネジメント計画書サブオブジェクト
- プロジェクトスコープ記述書サブオブジェクト
- 品質属性プロジェクトサブオブジェクト
- プロジェクト品質属性ポートレット

古いポートフォリオ機能は、CA Clarity PPM リリース 13.2 の新しいポートフォリオ機能に置き換えられました。PMO アクセラレータ リリース 3.2 には、新しいポートフォリオ機能に基づいた新しいポートフォリオ ポートレットがあります。そのため、古いポートフォリオ機能に基づいた古いポートフォリオ ポートレットは削除されました。

以下のページおよびポートレットは、PMO アクセラレータ リリース 3.2 から削除されました。

- [ポートフォリオダッシュボード] タブ（[概要] ページ）
 - [担当ポートフォリオ] ポートレット
 - [コスト別ポートフォリオ利益] ポートレット
 - [ゴール別ポートフォリオ投資利益] ポートレット
- [PMO ポートフォリオのレイアウト]
- [スコアカード] タブ
 - [残高] ポートレット
 - [投資] ポートレット
 - [会計] ポートレット
- 比較タブ
 - [投資優先度 [--基準シナリオ--]] ポートレット
 - [投資のリソース需要 [--基準シナリオ--]] ポートレット
 - [投資優先度 [--比較対象シナリオ--]] ポートレット
 - [投資のリソース需要 [--比較対象シナリオ--]] ポートレット
- [キャパシティ] タブ
 - [投資ガント] ポートレット

- [ポートフォリオ ロール キャパシティおよび需要] ポートレット
- [リソース] タブ
 - [リソース配置] ポートレット
 - [リソースのキャパシティと配置] ポートレット
- [会計] タブ
 - [資本 vs 経費予算および予測] ポートレット
 - [資本 vs 経費 (期間別)] ポートレット
 - [資本 vs 経費 (期間別の差異)] ポートレット
- [業績] タブ
 - [キーパフォーマンス インジケータ] ポートレット
 - [コストと工数のパフォーマンス] ポートレット

サポートされなくなったアクセス グループ

PMO アクセラレータ リリース 3.2 には、新しいアクセス グループが含まれています。PMO の以前のバージョンからアップグレードしている場合は、新しいアクセス グループを使用し、以前のリリースで出荷された古いアクセス グループの使用を中止することをお勧めします。

以下のアクセス グループは、PMO アクセラレータ リリース 3.2 から削除され、サポートされなくなりました。

- PMO アクセラレータ用ビジネス スポンサー グループ (ID:csk.BusinessSponsor)
- PMO アクセラレータ用ポートフォリオマネージャ グループ (ID:csk.PortfolioManager)
- PMO アクセラレータ用プログラム マネージャ グループ (ID:csk.ProgramManager)
- PMO アクセラレータ用プロジェクト マネージャ グループ (ID:csk.ProjectManager)
- PMO アクセラレータ用チーム メンバ グループ (ID:csk.TeamMember)

第 2 章: インストール情報

アドインのインストール

ユーザがコンテンツを利用できるように、CA Clarity アプリケーションサーバに PMO アクセラレータアドインをインストールします。PMO アクセラレータアドインは CA Clarity PPM 製品に含まれ、インストールの準備ができます。以前のリリースでは、サポートサイトからアドインインストーラをダウンロードする必要がありましたが、これは必要なくなりました。

以前の Clarity リリースからアップグレードしており、PMO アクセラレータがインストールされている場合は、その PMO アクセラレータもアップグレードする必要があります。Clarity バージョンにインストールする必要のあるアドインのバージョンを確認するには、認定およびサポートされているバージョンのチャートを確認してください。

ベストプラクティスとして、アドインをインストールする前に、既存の CA Clarity PPM インストールディレクトリおよびデータベースをバックアップすることを推奨します。

以下の手順では、CA Clarity アプリケーションサーバに PMO アクセラレータアドインをインストールする方法について説明します。

以下の手順に従います。

1. サービスの停止。
2. インストールスクリプトの実行。
3. サービスの起動

サービスの停止

アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM アプリケーション (app) および CA Clarity PPM バックグラウンド (bg) サービスを停止します。サービスは Clarity システム管理から停止します。CA Clarity PPM サービスの停止については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。

インストールスクリプトの実行

以下の手順では、ルックアップ、クエリ、ポートレット、ページ、ビュー、プロセス、グループ、リソース ロール、プロジェクトテンプレート、およびデータベース オブジェクトをインストールします。

重要: このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

以下の手順に従います。

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。

```
admin content csk
```

インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。これらの情報はキャプチャされ、ログディレクトリにある admin.log ファイル内に格納されます。出力ファイルは、logs/content/xog/csk ディレクトリ内に格納されます。

3. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

サービスの起動

アドインをインストールした後、CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを起動します。サービスは Clarity システム管理から起動します。CA Clarity サービスの起動については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。

自動的に適用されるアドイン項目

以下の項目について PMO アクセラレータによってインストールされた内容を以前に設定している場合、この設定は保持されません。これらはインストール時に上書きされます。

名前	タイプ	説明
投資	オブジェクト	<p>このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングが投資オブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます： [アーキテクチャの適合度]、[BTM 統合]、[ビジネス整合性]、[ビジネスユニット優先度]、[商品価値]、[企業優先度]、[ポートフォリオカテゴリ 1]、[ポートフォリオカテゴリ 2]、[ポートフォリオカテゴリ 3]、[ポートフォリオカテゴリ 4]、[法的遵守性]、[テクノロジ準拠性]、および [作業ステータス]。</p> <p>また、CA Clarity PPM でインストールされる次の属性の表示マッピングも含まれます：[進捗ステータス] および [ステータスインジケータ]。</p> <p>PMO リリース 3.1 では、[優先度] 表示マッピングは [高優先度] を緑で、[低優先度] を赤で表示するよう変更されています。PMO リリース 3.2 では、[優先度] 表示マッピングは PMO アクセラレータから削除され、同じルールに従って CA Clarity PPM でインストールされるようになりました。</p>
プロジェクト	オブジェクト	<p>このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングがプロジェクトオブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます：[ビジネスオーナー]、[コスト差異 (%)]、[予想要因 1]、[予想要因 2]、[会計とガバナンス]、[目標]、[プロジェクトカテゴリ]、[予測コスト差異]、[予測コスト差異 (%)]、[予測工数差異]、[予測工数差異 (%)]、[プロジェクトマネジメントオフィス]、[プロジェクトテンプレート]、[プロジェクトタイプ]、[ベースラインスケジュール]、[スケジュール差異 (%)]、および [ステータスレポート]。</p> <p>また、CA Clarity PPM でインストールされる [リスク] 属性の表示マッピングも含まれます。</p>

自動的に適用されるアドイン項目

名前	タイプ	説明
ステータス レポート	オブジェクト	このアイテムは、ステータス レポート オブジェクト全体が PMO アクセラレータと共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。その属性のすべての変更および対応するすべての表示マッピングが、インストール時に上書きされます。これにはオブジェクト ビューは含まれません。つまり、オブジェクト ビューは上書きされません。
PMO - プロジェクト ステータス	ページ	このアイテムは、ページレイアウトが PMO アクセラレータと共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。次のポートレットが含まれます： [プロジェクトインジケータ]、[今後のマイルストーン]、[プロジェクトベースライン]、[ステータス レポートインジケータ]、[トランザクションタイプ別実績値]、および [チーム稼働ステータス]。
トランザクションタイプ 別実績値	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。クエリ プロバイダの変更は、パフォーマンスを向上させるために行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がポートレット設定で使用できなくなりました： [残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクトエンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソースエンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクションタイプ]、および [WBS シーケンス]。また、集計行も削除されました。</p> <p>ポートレットは、Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。</p> <p>ポートレットには、[トランザクション] / [リソース] / [日付] 列に続いてグリッドに表示される 2 つのプレースホルダ列があります。ポートレットが Excel にエクスポートされないと、これらのプレースホルダ列にはデータが表示されません。ポートレットが Excel にエクスポートされると、リソース名およびトランザクション日がプレースホルダ列に表示されます。</p>

名前	タイプ	説明
コストとスケジュールの概要	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロジェクト] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト] 、 [計画資本コスト (%)] 、 [計画業務コスト] 、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。</p>
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コストタイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。ポートレットはフィルタリングなしでは結果を表示せず、 [投資フィルタ] が必要になりました。</p> <p>注: このポートレットは、メニューの [ポスト済みトランザクションレビュー] ページから使用できます。</p>
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コストタイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。</p> <p>注: このポートレットは、コスト計画詳細オブジェクトアクションとして使用できます。</p>
プログラムマネージャコストダッシュボード	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロジェクト] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト] 、 [計画資本コスト (%)] 、 [計画業務コスト] 、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。</p>
スケジュールと進捗ステータス	ポートレット	<p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [計画資本コスト] および [計画業務コスト] メトリックは、このポートレットに対する設定で追加できます。</p>

自動的に適用されるアドイン項目

名前	タイプ	説明
チーム メンバータスク要約	ポートレット	このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。[プロジェクト] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合、ポートレットにはガイドラインアイコンが表示されるようになりました。
トランザクションタイプ別実績値	クエリ	パフォーマンス向上は、このクエリ プロバイダに対して行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がクエリから削除されました：[残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクトエンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソースエンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクションタイプ]、[WBS シーケンス]。また、クエリも Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。
コストとスケジュールの概要	クエリ	クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト(%)] という新しいコスト列が含まれるようになりました。また、[実コスト] 列も [実コスト(ACWP)] に名前が変更されました。
現在の問題	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
現在の問題のリスト	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
フェーズ別アーンドバリュー分析	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資リソース稼働ステータス	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
投資タイムシートのレビュー	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資タイムシートの要約	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題管理	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
優先度別問題	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題のリスト	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レポート遅延	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
遅延タスクとマイルストーン	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
マイルストーン	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レポート欠如	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
保留中の見積もり	クエリ	クエリは、値に設定された未確定の ETC のみを含むように変更されています。未確定の ETC は、NULL である（値が入力されていない）場合、クエリ結果に含まれません。
プロセス ボット ルネック	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

自動的に適用されるアドイン項目

名前	タイプ	説明
プログラムマネージャコストダッシュボード	クエリ	クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および[計画業務コスト(%)]という新しいコスト列が含まれるようになりました。また、[実コスト]列も[実コスト(ACWP)]に名前が変更されました。
プログラムマネージャスケジュールダッシュボード	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクト分析	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトベースライン	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
フェーズ別プロジェクトコスト	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。また、[実コスト]列も[実コスト(ACWP)]に名前が変更されました。
リソース別プロジェクトコスト	クエリ	[実コスト]列は[実コスト(ACWP)]に名前が変更されました。
タスク別プロジェクトコスト	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。また、[実コスト]列も[実コスト(ACWP)]に名前が変更されました。
[プロジェクトサイクル時間分析]	クエリ	WBSにいくつかのレベル（フェーズとタスクを含む）がある場合、クエリによって、ディメンションに関する重複したデータが生成されなくなりました。
プロジェクトドキュメントレビュー	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトインジケータ	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
OBS 別プロジェクト KPI	クエリ	[プロジェクト詳細] 列は [プロジェクトダッシュボード] に名前が変更されました。マッピングは、[横向き矢印 - 中間色] アイコンから [ダッシュボード] アイコンに変更されました。
プロジェクトライフサイクルのレビュー	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトマネージャスケジュールダッシュボード	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
リスク管理	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スケジュールと進捗ステータス	クエリ	クエリには、[計画資本コスト] および [計画業務コスト] という新しいコスト列が含まれるようになりました。
スケジュールパフォーマンス	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スケジュールパフォーマンスの詳細	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ配置	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ割り当て	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ配置見通し	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータスレポートインジケータ	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
ステータス レポート リスト	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
チーム キャパシティ	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
チーム メンバー オーガナイザ	クエリ	クエリは、タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合にガイドラインアイコンを表示するように変更されています。
タイムシート メモ	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
タイムシート のレビュー	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
トランザクション レビュー	クエリ	クエリには、列およびフィルタとして [コストタイプ] が含まれるようになりました。また、パラメータフィルタとして [入力番号] も含まれています。
今後のプロジェクトマイルストーン	クエリ	このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

アドイン項目の確認

以下の手順では、アドイン項目を適用する前にそれを確認する方法について説明します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [管理] を開き、Studio から [アドイン] を開きます。
[アドイン] ページが表示されます。
3. [アクセラレータ: プログラムマネジメントオフィス] アドイン (ID: csk) をクリックします。
[アドイン詳細] ページが表示されます。

4. インストール済みアドイン項目および新規アドイン項目への変更を確認します。

PMO アクセラレータ リリース 3.2 で更新された項目のリストと各更新の説明については、「[PMO リリース 3.1 から PMO リリース 3.2 へのアップグレード \(P. 47\)](#)」を参照してください。

また、「[PMO v3.0 から リリース 3.1 へのアップグレード \(P. 58\)](#)」のトピックも使用できます。このトピックには、PMO アクセラレータ リリース 3.1 で更新された項目のリストと各更新の説明が含まれています。

ユーザが以前にビューを設定している場合、設定は保持され、インストール中に上書きされません。ユーザは適用する新規ビューまたは更新済みビューを指定できます。新規項目または変更済み項目を選択して適用するには、Studio のアドインの詳細ページを使用します。Studio オブジェクトを適用すると、Studio オブジェクトビューの既存の設定が上書きされます。

PMO アクセラレータ によるビューの設定方法の詳細については、「[PMO アクセラレータ製品ガイド](#)」を参照してください。

Studio の [アドイン詳細] ページには、アドインに含まれているすべての項目が一覧表示されます。このページには、以下のフィールドが表示されます。

名前

アドインの名前が、項目間の依存関係によって決定される階層として表示されます。

ステータス

アドイン項目が CA Clarity PPM で適用されるかどうかを示します。

値：

- [未インストール]。このアドインバージョンで新しく追加された項目、またはインストールまたは適用時にエラーが発生した項目。以前の Clarity リリースからのアップグレードの後に PMO アクセラレータが正しくアップグレードされていない場合は、いくつかの項目が [未インストール] として表示され、アドインをインストールする必要があることを伝えるアラートメッセージが表示されます。[更新の準備ができました] として表示されている項目を確認する前に、このアドインをインストールします。
- [更新の準備ができました]。以前のアドインバージョンから適用している項目で現在のアドインバージョンで更新されている項目、または Studio を使用して更新したビューでアドインによって更新されたビュー。

重要: 項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。
- [インストール済み]。インストールされている項目です。

タイプ

項目タイプを示します。

値： [オブジェクト]、 [ルックアップ]、 [ページ]、 [タブ]、 [ポートレット]、 [クエリ]、 [カスタムビュー]、 [メニュー]、 [グループ]、 [プロジェクト]、 [プロセス]、 [ロール]、 [レポート/ジョブ]

ID

アドイン項目のコードを表示します。このコードはアドイン項目の ID です。

アドイン項目の適用

アドインの既存のインストールがある場合、または以前に CA Clarity PPM Studio オブジェクトが設定されている場合は、このセクションで記述されているステップを実行します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [管理] を開き、Studio で [アドイン] をクリックします。
[アドイン] ページが表示されます。
3. [アクセラレータ: プログラムマネジメントオフィス] アドイン (ID: csk) をクリックします。
[アドイン詳細] ページが表示されます。
4. リスト内の項目を確認し、[更新の準備ができました] または [未インストール] である項目を選択します。

注意: 既定では、現在のアドインバージョンにアップグレードするときは、新規または変更済みの項目のみがあらかじめ選択されています。項目の一部を適用しない場合は、[アドイン詳細] ページから、あらかじめ選択されている項目をすべて選択解除します。ページの上部、[名前] 列見出しの左にあるチェックボックスを一度クリックするとすべての項目が選択され、もう一度クリックするとすべて選択解除されます。その後、適用したい項目を選択します。選択した項目と依存関係のあるその他の項目も選択されます。

PMO アクセラレータリリース 3.2 で更新された項目のリストと各更新の説明については、「[PMO リリース 3.1 から PMO リリース 3.2 へのアップグレード \(P. 47\)](#)」を参照してください。

5. (アップグレードの場合のみ) ステータスが「更新の準備ができました」になっているアクティブなプロセスインスタンスがある場合は、それらをすべてキャンセルして削除します。

CA Clarity PPM 管理者に問い合わせるか、「管理ガイド」を参照してください。

6. [適用] をクリックします。

注意: ほかの項目に対して依存関係のある選択済み項目も更新されます。

更新された項目のリストは、確認ページまたはインストールページに表示されます。

7. 項目を更新またはインストールするには、[はい] をクリックします。

[確認] または [インストール] ページにリスト表示される項目がユーザによって事前に変更された場合は、更新を表示する前に、その項目がユーザに示されます。

詳細については、「[Studio 開発者ガイド](#)」を参照してください。

CA ベストプラクティス アクセラレータ

PMO アクセラレータ v2.0 以降、PMO アクセラレータ アドインには、ベストプラクティス アクセラレータ（BPA）が以前にインストールされている場合にすでに存在する可能性のある、ポートレット、プロセス、サブオブジェクト、テンプレートが含まれています。PMO アクセラレータ v1.3 からアップグレードしており、BPA をインストールしている場合は、PMO アクセラレータ リリース 3.2 へのアップグレードを管理する方法の詳細について、「*Upgrading from Clarity's Best Practices Accelerator to PMO アクセラレータ v2.1*」というドキュメントを参照してください。

PMO アクセラレータのサンプル データのインストール

PMO アクセラレータのサンプルデータをインストールすると、CA Clarity PPM の機能の例を確認して使用できます。

重要: サンプルデータは厳密にテストまたは開発環境向けです。サンプルデータを実稼働 CA Clarity PPM サーバにインストールしないでください。データを含む CA Clarity PPM サーバにサンプルデータをインストールすると、エラーが生成されたり、既存のデータが上書きされたりすることがあります。サンプルデータをインストールした後は、それを削除できません。

アドインサンプルデータをインストールする前に、システム通貨を **USD** に設定し、CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを停止します。

以下の手順に従います。

1. **admin** として、または [会計保守 - 会計管理] および [会計保守 - FOS(会計組織構造)] グローバルアクセス権を持つ任意のユーザとして CA Clarity にログインします。
2. [管理] を開き、[会計] メニューから [セットアップ] をクリックします。
[会計管理の既定値] ページが表示されます。
3. 通貨に **USD** を選択して保存します。
4. CA Clarity システム管理にログインします。
5. [ホーム] を開き、[すべてのサービス] をクリックします。
6. CA Clarity アプリケーション (app) と CA Clarity バックグラウンド (bg) のチェックボックスをオンにします。
7. [停止] をクリックします。
8. Oracle WebLogic または IBM WebSphere を使用している場合は、アプリケーションサーバの管理コンソールを使用して、CA Clarity システム管理とアプリケーションを停止します。
詳細については、J2EE ベンダーのドキュメントを参照してください。
9. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。
10. 以下のコマンドを入力して、サンプルデータをインストールします。
`admin content-demo csk`
インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。出力ファイルは、`logs/content/xog/csk` ディレクトリ内に格納されます。
11. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

第3章: 認定およびサポートされているバージョン

以下の PMO アクセラレータ と CA Clarity PPM の組み合わせのみが認定およびサポートされています。この表で、正しい PMO アクセラレータ と Clarity の組み合せがあることを確認してください。

CA Clarity のバージョン	アドインのバージョン
13.2	3.2
13.1	3.1
13.0	3.0
12.1	2.2
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.6	2.1.1
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.5	2.1
8.1.5	2.0
8.1 Service Pack 2	1.3
8.1.1	1.2

重要: PMO v1.2 から PMO v3.0 へのアップグレードは、有効なアップグレードパスではありません。PMO v1.2 がインストールされている場合は、PMO リリース 3.1 または PMO リリース 3.2 にアップグレードする必要があります。

PMO v1.2 より前のバージョンからのアップグレードでは、PMO リリース 3.2 にアップグレードする前に、PRASSIGNMENT テーブルの PRBASESUM 列への参照を削除するために COP_PROJECT_ROLLOUP_V データベース ビューにパッチを適用する必要があります。パッチ入手には、テクニカル サポートにお問い合わせください。

第4章：ローカライゼーション

ユーザインターフェースは、サポートされている以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- 中国語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- トルコ語

ローカライズ済みドキュメントの最新版は、[CA サポート](#)の【ドキュメント】リンクからオンラインで利用できます。

第5章: ドキュメント

「PMO アクセラレータ製品ガイド」には製品概要およびインストール情報が記載されています。また、このガイドにはアドインの使用方法に関する詳細なプロセスと手順が含まれています。

「PMO アクセラレータ製品ガイド」と「リリース ノート」の最新のバージョンは、[CA サポート](#)の [ドキュメント] ページから利用可能です。ドキュメントの最新版については、この Web サイトに定期的にアクセスしてください。

第6章：追加リソース

既知の問題

既知の問題については、[CA Support Online](#) にアクセスしてキーワード「*pmo3open*」を検索してください。すべての関連記事および既知の問題が表示されます。

テクニカル サポートへのお問い合わせ

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイトをご覧ください。

Web アドレス：

<http://www.support.ca.com>

電話番号：

北アメリカ： 1 888 (550) 6458

ヨーロッパ： 44 08459 (888788)

アジア太平洋： 61 3 (9821) 3000

第 7 章: アップグレード情報

PMO リリース 3.1 から PMO リリース 3.2 へのアップグレード

PMO リリース 3.1 がインストールされていて、PMO リリース 3.2 にアップグレードする場合は、適用されていない項目が [アドイン詳細] ページに表示されます。これらの項目のステータスには、[更新の準備ができました] と表示されます。多くの場合、項目が [更新の準備ができました] と表示される理由は、新しいアドインバージョンに含まれる項目に更新があるためです。

以下の表に、PMO リリース 3.1 が完全にインストールおよび適用され（すべてのカスタムビューを含む）、PMO リリース 3.2 にアップグレードされたシナリオを示します。表内の項目の順序は、[アドイン詳細] ページで表示される順序と同じです。2つ以上の依存関係を持つ項目は、表内で重複しています。これは、[アドイン詳細] ページでも同じように表示されます。

重要: 表を参照して、[更新の準備ができました] ステータスを持ったアドイン項目の適用に推奨されるアクションの説明を確認してください。更新の適用が、「強く推奨」、「推奨」、または「オプション」のいずれかを判断できます。

以下のフィールドが表に表示されます。

名前

項目名を示します。[アドイン詳細] ページの名前と同じです。

タイプ

項目タイプを示します。[アドイン詳細] ページのタイプと同じです。

値: [オブジェクト]、[ルックアップ]、[ページ]、[タブ]、
[ポートレット]、[クエリ]、[カスタムビュー]、[メニュー]、
[グループ]、[プロジェクト]、[プロセス]、[ロール]、[レポート/ジョブ]

説明

更新の説明、および更新を適用する理由についての簡単な説明です。

アクション

項目に対して実行する必要のあるアクションを示します。

値：

- SR。 更新が強く推奨されます。 これは適用する必要があります。
- R。 更新が推奨されます。 これは適用すべきです。
- O。 更新はオプションです。 カスタム ビューまたは項目を変更した場合または変更が上書きされるのを望まない場合以外は、更新の適用を推奨します。 ビューの更新を適用しない場合は、変更の説明を読み、設定されたビューで手動で変更を行うことを考慮するようにしてください。

重要: 項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。

名前	タイプ	説明	アクション
現在の問題リスト	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
概要	ページ	[概要]、[スポンサー]、[プログラムダッシュボード]、[PMアラート]、および [プロジェクトダッシュボード] タブ内のポートレットに対して行われた変更のため、[概要] タブは「更新の準備ができました」として表示されます。 [ポートフォリオダッシュボード] タブは、古いポートフォリオ機能と共に [概要] ページから削除されました。	O
概要	タブ	[マイタイムシート] および [担当レポート] ポートレットは、このタブに含まれようになりました。 非推奨のイベント (calendar.homeEvents) およびイベントカレンダー (calendar.eventChanges) エントリは削除されています。	O
スポンサー	タブ	[OBS別プロジェクトKPI]、[プロジェクトスケジュール]、および [プロジェクトタイプ別計画コスト] ポートレットに対して行われた変更のため、[スポンサー] タブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O

名前	タイプ	説明	アクション
OBS 別のプロジェクト KPI	ポートレット	[OBS/プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。 [プロジェクトレベル] 列は [プロジェクトダッシュボード] に名前が変更され、[ダッシュボード] アイコンがこの列にマッピングされています。 [プロジェクトダッシュボード] 列は、ポートレットに表示されるように設定されていると、プロジェクト概要にリンクします。 [自動的に展開] オプションは、オフに設定されるようになりました。	R
表示マッピング - ルックアップアイコン(ダッシュボード)	ルックアップ	[プロジェクトダッシュボード] 列は、[OBS 別プロジェクト KPI] クエリで [ダッシュボード] アイコンにマッピングされるようになりました。これは、その表示マッピングのためのルックアップです。	SR
プロジェクトスケジュール	ポートレット	[ダッシュボード] アイコンは含まれており、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするように変更されました。 [プロジェクトタイプ] 列は、列およびフィルタとしてポートレットに表示されるようになりました。 [計画コスト] は、フィルタから削除されました。	R
プロジェクト計画コスト	ポートレット	[プロジェクト計画コスト] ポートレットは [プロジェクトタイプ別計画コスト] に名前が変更され、プロジェクトタイプごとの計画コストのパーセント量を表示するように変更されました。	R
プログラムダッシュボード	タブ	[プログラムマネージャコストダッシュボード] および [プログラムマネージャスケジュールダッシュボード] ポートレットに対して行われた変更のため、[プログラムダッシュボード] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
プログラムマネージャスケジュールダッシュボード	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R

名前	タイプ	説明	アクション
PM アラート	タブ	[マイルストーン] ポートレットに対して行われた変更のため、[PM アラート] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
マイルストーン	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
プロジェクト ダッシュボード	タブ	[プロジェクトマネージャコストと工数ダッシュボード] ポートレットに対して行われた変更のため、[プロジェクトダッシュボード] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
プロジェクトマ ネージャコスト と工数ダッシュ ボード	ポートレット	[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。	R
問題とリスク	タブ	[リスク管理] および [問題管理] ポートレットに対して行われた変更のため、[問題とリスク] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
リスク管理	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
問題管理	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
リソース別プロ ジェクトコスト	ポートレット	[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。	R
タスク別プロ ジェクトコスト	ポートレット	[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。	R

名前	タイプ	説明	アクション
フェーズ別プロジェクトコスト	ポートレット	[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。	R
スケジュールパフォーマンスの詳細	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
スタッフ割り当て	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
プロジェクトライフサイクルのレビュー	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。	R
アプリケーション変更テンプレート方法論	プロジェクト	これは、適用されると、[アプリケーション変更テンプレート] 項目の方法論として参照されるプロジェクトテンプレートを作成します。テンプレートが適用された場合、そのテンプレートに対応する方法論を適用するべきです。	R
アプリケーション変更テンプレート	プロジェクト	割り当て ETC の量は、以前にゼロに設定された場合に変更されました。WBS が確認され、新しい [コストタ입] 属性は、このテンプレート内の各フェーズとタスクに対して [業務] に設定されました。	R
アプリケーション COTS テンプレート方法論	プロジェクト	これは、適用されると、[アプリケーション COTS テンプレート] 項目の方法論として参照されるプロジェクトテンプレートを作成します。テンプレートが適用された場合、そのテンプレートに対応する方法論を適用するべきです。	R
アプリケーション COTS テンプレート	プロジェクト	割り当て ETC の量は、以前にゼロに設定された場合に変更されました。WBS が確認され、新しい [コストタ입] 属性は、このテンプレート内の各フェーズとタスクに対して [業務] に設定されました。	R

名前	タイプ	説明	アクション
インフラストラクチャの展開テンプレート方法論	プロジェクト	これは、適用されると、[インフラストラクチャの展開テンプレート] 項目の方法論として参照されるプロジェクトテンプレートを作成します。テンプレートが適用された場合、そのテンプレートに対応する方法論を適用するべきです。	R
インフラストラクチャの展開テンプレート	プロジェクト	割り当て ETC の量は、以前にゼロに設定された場合に変更されました。WBS が確認され、新しい [コストタイプ] 属性は、このテンプレート内の各フェーズとタスクに対して [業務] に設定されました。	R
メジャー プロジェクトテンプレート方法論	プロジェクト	これは、適用されると、[メジャー プロジェクトテンプレート] 項目の方法論として参照されるプロジェクトテンプレートを作成します。テンプレートが適用された場合、そのテンプレートに対応する方法論を適用するべきです。	R
メジャー プロジェクトテンプレート	プロジェクト	割り当て ETC の量は、以前にゼロに設定された場合に変更されました。WBS が確認され、新しい [コストタイプ] 属性は、フェーズとそのタスクに対して設定されました。[コストタイプ] は、[開始]、[計画]、[設計]、および [終了] フェーズで [業務] に設定されました。[コストタイプ] は、[構築]、[展開]、および [品質] フェーズで [資本] に設定されました。	R
アプリケーションオブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。[アプリケーション] 列は、アプリケーションプロパティ ページにリンクします。	O

名前	タイプ	説明	アクション
アプリケーションオブジェクトプロパティビュー	カスタムビュー	[アプリケーションの要約]、[会計の要約]、および [設定] サブページが変更されています。[アプリケーションの要約] サブページには、「作業ステータス」ルックアップフィールドが含まれています。[会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています：[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。[計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。[設定] ページには、[請求通貨] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
資産オブジェクトリストビュー	カスタムビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。[資産] 列は、[資産プロパティ] ページにリンクします。	0
資産オブジェクトプロパティビュー	カスタムビュー	[資産の要約]、[会計の要約]、および [設定] サブページが変更されています。[資産の要約] サブページには、「作業ステータス」ルックアップフィールドが含まれています。[会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています：[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。[計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。[設定] ページには、[請求通貨] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
コスト計画オブジェクトプロパティビュー	カスタムビュー	以前のリリースでは、[最終更新者] 列ラベルに名前の余分な領域が含まれていました。現在は修正されており、[最終更新者] が表示されます。	0
コスト計画詳細オブジェクトリストビュー	カスタムビュー	コスト計画のグループ化属性にグループ化オプションとしてコストタイプが含まれている場合は、リストビューに [コストタイプ] 列が表示されるようになりました。	0

名前	タイプ	説明	アクション
コスト計画詳細オブジェクト フィルタ ビュー	カスタム ビュー	フィルタ ビューには、[コストタイプ] フィールドが O 含まれるようになりました。	O
コスト計画詳細オブジェクト - 予算フィルタ ビュー	カスタム ビュー	フィルタ ビューには、[コストタイプ] フィールドが O 含まれるようになりました。	O
コスト計画詳細オブジェクトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	コスト計画のグループ化属性にグループ化オプション O としてコストタイプが含まれている場合は、プロパティ ビューに [コストタイプ] フィールドが表示されるようになりました。	O
アイデアオブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。 [アイデア] 列は、[アイデアのプロパティ] ページにリンクします。	O
アイデアオブジェクトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	[アイデアの要約] および [会計の要約] サブページ O が変更されています。 [アイデアの要約] サブページには、[作業ステータス] ルックアップフィールドが含まれています。 [会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています： [計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト(%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト(%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト(%)]。 [計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。	O
他の作業オブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。 [他の作業] 列は、[他の作業プロパティ] ページにリンクします。	O

名前	タイプ	説明	アクション
他の作業オブジェクトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	[会計の要約] および [設定] サブページが変更されています。[会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています：[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。[計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。[設定] ページには、[請求通貨] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
製品オブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。[製品] 列は、製品のプロパティ ページにリンクします。	0
製品オブジェクトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	[製品要約]、[会計の要約]、および [設定] サブページが変更されています。[製品要約] サブページには、[作業ステータス] ルックアップ フィールドが含まれています。[会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています：[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。[計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。[設定] ページには、[請求通貨] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
プロジェクトオブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。列の順序は、[ダッシュボード] リンク、[プロジェクト]、[ステータス レポート] リンク、[ガント] リンク、[ドキュメント] リンク、[マネージャ]、[ステージ]、[開始]、[終了]、および [ガントスケジュール] です。	0

名前	タイプ	説明	アクション
プロジェクトオブジェクトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	[会計の要約] および [設定] サブページが変更されています。 [会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています： [計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。 [計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。 [設定] ページには、[未割り当てタイムシートタスクの追加を禁止] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
プログラムリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プログラム] 列は、[プログラムのプロパティ] ページにリンクするようになりました。列の順序は、[ダッシュボード] リンク、[プログラム]、[サブプロジェクト] リンク、[ステータスレポート] リンク、[ガント] リンク、[ドキュメント] リンク、[マネージャ]、[ステージ]、[開始]、[終了]、および [ガントスケジュール] です。	0
担当プロジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。列の順序は、[ダッシュボード] リンク、[プロジェクト]、[ステージ]、[ステータス] リンク、[チーム] リンク、[ガント] リンク、および [ドキュメント] リンクです。	0
サービスオブジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[プロパティ] アイコンは、このビューから削除されました。 [サービス] 列は、[サービスプロパティ] ページにリンクします。	0

名前	タイプ	説明	アクション
サービス オブ ジェクトプロパ ティ ビュー	カスタム ビュー	[サービスの要約]、[会計の要約]、および [設定] サブページが変更されています。 [サービスの要約] サブページには、[作業ステータス] ルックアップ フィールドが含まれています。 [会計の要約] サブページには、次の 8 つの新しいコストフィールドが含まれています：[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、[計画業務コスト (%)]、[予算資本コスト]、[予算資本コスト (%)]、[予算業務コスト]、および [予算業務コスト (%)]。 [計画コスト] および [予算コスト] フィールドは読み取り専用です。 [設定] ページには、[請求通貨] および [コストタイプ] フィールドが含まれています。	0
ステータスレ ポートサブオブ ジェクトプロパ ティ ビュー	カスタム ビュー	作成されたビューは、必要に応じて [プロジェクトマ ネージャ] フィールドを表示しており、どの値も受け 付けませんでした。そのため、新しいステータスレ ポートを作成できませんでした。このビューが [プロ ジェクトマネージャ] を表示しないように修正されま した。	0
タスク オブジェ クトプロパティ ビュー	カスタム ビュー	[設定] サブページが変更されています。 [設定] ペー ジには、[コストタイプ] フィールドが含まれていま す。	0

PMO v3.0 からリリース 3.1 へのアップグレード

PMO v3.0 から PMO リリース 3.1 にアップグレードする場合は、[アドイン詳細] ページに適用されていない項目が表示されます。これらの項目のステータスには、[更新の準備ができました] と表示されます。多くの場合、項目が [更新の準備ができました] と表示される理由は、新しいアドインバージョンに含まれる項目に更新があるためです。

以下の表に、PMO v3.0 が完全にインストールおよび適用され、すべてのカスタムビューを含み、PMO リリース 3.1 へとアップグレードされた場合のシナリオを示します。表内の項目の順序は、[アドイン詳細] ページで表示される順序と同じです。2つ以上の依存関係を持つ項目は、表内で重複しています。これは、[アドイン詳細] ページでも同じように表示されます。

重要: 表を参照して、[更新の準備ができました] ステータスを持ったアドイン項目の適用に推奨されるアクションの説明を確認してください。更新の適用が、「強く推奨」、「推奨」、または「オプション」のいずれかを判断できます。

以下のフィールドが表に表示されます。

名前

項目名を示します。[アドイン詳細] ページの名前と同じです。

タイプ

項目タイプを示します。[アドイン詳細] ページのタイプと同じです。

値: [オブジェクト]、[ルックアップ]、[ページ]、[タブ]、
[ポートレット]、[クエリ]、[カスタムビュー]、[メニュー]、
[グループ]、[プロジェクト]、[プロセス]、[ロール]、[レポート/ジョブ]

説明

更新の説明、および更新を適用する理由についての簡単な説明です。

アクション

項目に対して実行する必要のあるアクションを示します。

値：

- SR - 更新が強く推奨されます。これは適用する必要があります。
- R - 更新が推奨されます。これは適用すべきです。
- O - 更新はオプションです。カスタム ビューまたは項目を変更した場合または変更が上書きされるのを望まない場合以外は、更新の適用を推奨します。ビューの更新を適用しない場合は、変更の説明を読み、設定されたビューで手動で変更を行うことを考慮するようしてください。

重要: 項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。

名前	タイプ	説明	アクション
ODF.NSQL.CO P.PRJPENDIN GESTIMATES. RECOMMEND _CHANGE_ET C_HRS_SL	ルックアップ	[未確定の見積もりのレビュー] ポートレットの [ETC の増加/減少] 列の表示マッピングの説明が正しくありませんでした。緑の信号は [ETC の減少]、赤の信号は [ETC の増加] に表示が修正されます。	SR
現在の問題 のリスト	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
問題のリス ト	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
概要	ページ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更はタブの 1 つに対するものため、[概要] ページは [更新の準備ができました] と表示されます。	O
概要	タブ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更は [概要] ページのタブの 1 つに対するものため、[概要] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O

名前	タイプ	説明	アクション
スポンサー	タブ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更は [概要] ページのタブの 1 つに対するものため、[スポンサー] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
OBS 別のプロジェクト KPI	クエリ	クエリによってプロジェクトを OBS のトップ レベルと関連付ける場合に、ディメンションに関する重複したデータが生成されなくなりました。	SR
プロジェクトスケジュール	ポートレット	機能の変更はありません。Clarity v13.1 では、内部フィールド (クラスコード) が削除されました。結果として、このポートレットからの削除も必要になります。	R
プロジェクト計画コスト	ポートレット	機能の変更はありません。Clarity v13.1 では、内部フィールド (クラスコード) が削除されました。結果として、このポートレットからの削除も必要になります。	R
ポートフォリオダッシュボード	タブ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更は [概要] ページのタブの 1 つに対するものため、[ポートフォリオダッシュボード] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
プログラムダッシュボード	タブ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更は [概要] ページのタブの 1 つに対するものため、[プログラムダッシュボード] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O
ODF.NSQL.CO P.PROGRAMS CHEDULEDAS HBOARD.SCHEDULE_SL	ルックアップ	プログラム スケジュール ダッシュボード ポートレットの [スケジュール] 列の表示マッピングの説明が正しくありませんでした。割合 (%) の代わりに「日」を表示するよう修正されます。	SR
PM アラート	タブ	[概要] ページの [問題とリスク] タブは、[問題管理] ポートレットを最大化して表示するように変更されています。この変更は [概要] ページのタブの 1 つに対するものため、[PM アラート] タブは [更新の準備ができました] として表示されます。	O

名前	タイプ	説明	アクション
現在の問題	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
プロジェクトマネージャースケジュールダッシュボード	ポートレット	このポートレットでは、イメージとして [時間入力オーブン] 列を表示し、[完了率 (%)] 列が右揃えで表示されるようになりました。これらは既定レイアウトでは表示されない設定可能な列です。	R
プロジェクトマネージャコストと工数ダッシュボード	ポートレット	このポートレットでは、[サブプロジェクト] アイコン列を表示し、プロジェクトがサブプロジェクトかどうかを示すようになりました。	R
問題とリスク	タブ	[問題管理] ポートレットは、パフォーマンス上の理由により、[リスク管理] ポートレットの上ではなく、このタブ上で最大化されて表示されるようになりました、どちらのポートレットもまだ利用可能で、ドロップダウンリストから選択できます。	R
リスク管理	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
問題管理	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
投資	ポートレット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
会計	ポートレット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R

名前	タイプ	説明	アクション
投資ガント レット	ポート レット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
資本 vs 経費 (期間別の差 異)	ポート レット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
資本 vs 経費 (期間別)	クエリ	パフォーマンスの向上。クエリが書き換えられています。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
ポートレッ ト会計期間 タイプ	ルック アップ	[資本 vs 経費（期間別）] クエリを適用するには、[ポー トレット会計期間タイプ] ルックアップを適用する必要が あります。これは、クエリとルックアップの間に依存関係 があるために必要となります。また、このルックアップに は、[資本 vs 経費（期間別の差異）] ポートレットで利用 可能な [期間のタイプ] フィルタのオプションとして選択 できる新しい値（[13期間]）が含まれるようになりました。	SR
資本 vs 経費 予算および 予測	ポート レット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。また、[予算と予測の差異（資本）]、[予算と予測の差異（経費）]、および[予算と予測の差異（合計）]列では、信号のイメージの代わりに値が表示されるようになります。	R
資本 vs 経費 予算および 予測	クエリ	パフォーマンスの向上。クエリが書き換えられています。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
資本 vs 経費 (期間別)	ポート レット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
資本 vs 経費 (期間別)	クエリ	パフォーマンスの向上。クエリが書き換えられています。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR

名前	タイプ	説明	アクション
ポートレット会計期間タイプ	ルックアップ	[資本 vs 経費 (期間別)] クエリを適用するには、[ポートレット会計期間タイプ] ルックアップを適用する必要があります。これは、クエリとルックアップの間に依存関係があるために必要となります。また、このルックアップには、[資本 vs 経費 (期間別)] ポートレットで利用可能な [期間のタイプ] フィルタのオプションとして選択できる新しい値（[13 期間]）が含まれるようになりました。	SR
キー投資データ	ポートレット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
コストと工数のパフォーマンス	ポートレット	[ポートフォリオ] ポートレットはまず承認済みステータス（[承認フラグ]）によって結果を降順で並べ替え、次に投資名によって昇順で並べ替えるように設定されています。	R
コストとスケジュールの概要	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
スケジュールと進捗データ	クエリ	プロジェクトを承認済みステータスによってフィルタする場合、ほかの Clarity フィルタと同様に、クエリに [再開済み] ステータスを持ったプロジェクトが含まれるようになりました。	SR
投資リソース稼働データ	クエリ	パフォーマンスの向上。また、プロジェクトを承認済みステータスによってフィルタする場合、ほかの Clarity フィルタと同様に、クエリに [再開済み] ステータスを持ったプロジェクトが含まれるようになりました。	SR
プロジェクトインジケータ	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR

名前	タイプ	説明	アクション
ステータス レポートイ ンジケータ	クエリ	OBS フィルタは、OBS ユニットをすべてリスト表示する [OBS フィルタ参照] の代わりに、プロジェクトと関連付けられた OBS ユニットをリスト表示する [OBS プロジェクト フィルタ参照] を使用するようになりました。これには、[アクティブ]、[テンプレート]、および [プログラム] フィルタ オプションへの変更も含まれます。これらは現在、[ポートレット - はい/いいえ] ルックアップに関連付けられています。	SR
トランザク ションタイ プ別実績値	クエリ	パフォーマンスの向上。このクエリには、リソース レベル の小計の計算に対する修正も含まれています。また、小文字を含むプロジェクト ID のデータを表示します。	SR
プロジェク トベースラ イン	クエリ	パフォーマンスの向上。	SR
チーム キャ パシティ	クエリ	パフォーマンスの向上。	SR
問題の優先 度別表示	クエリ	パフォーマンスの向上。同じクエリ結果をより高いパフォーマンスで取得できるよう、別のテーブルにアクセスします。	SR
フェーズ別 アーンドバ リュー分析	ポート レット	[ランドバリュー (BCWS)]、[アーンドバリュー (BCWP)]、[実コスト (ACWP)]、および [コスト差異 (CV)] 列は、小数点以下を 2 術表示する形式になりました。	R
フェーズ別 アーンドバ リュー分析	クエリ	このクエリには、[アクティブ]、[テンプレート]、および [プログラム] フィルタ オプションへの変更が含まれます。これらは現在、[ポートレット - はい/いいえ] ルックアップに関連付けられています。	SR
プロジェクト 分析	クエリ	パフォーマンスの向上。	SR
投資リソー ス稼働ス テータス	クエリ	パフォーマンスの向上。また、プロジェクトを承認済みステータスによってフィルタする場合、ほかの Clarity フィルタと同様に、クエリに [再開済み] ステータスを持ったプロジェクトが含まれるようになりました。	SR

名前	タイプ	説明	アクション
プロジェクトライフサイクルのレビュー	ポートレット	ポートレットはフェーズ WBS シーケンスによって結果を並べ替えるように設定されています。	R
プロジェクトライフサイクルのレビュー	クエリ	フェーズがプロジェクトに存在し、遅延していない場合、このクエリは緑の信号を表示するようになりました。	SR
コスト計画オブジェクトプロパティビュー	カスタム	Clarity v13.1 で予算計画を作成するために会計計画をサブミットする場合、新しく利用可能になった [提出オプション] を使用できます。 [提出オプション] では、予算計画を以前に作成したものと結合したり、置換したりすることができます。このビューには、[提出オプション] フィールドが含まれるようになりました。	O
総勘定元帳の配置オブジェクト-借方ルールフィルタビュー	カスタム	このビューは [ユーザ値 1] を 2 つ表示していました。現在は [ユーザ値 1] と [ユーザ値 2] を表示するように修正されています。	O
プロジェクトオブジェクトプロパティビュー	カスタム	[プロジェクト要約] および [ビジネス整合性] サブページが変更されています。 [プロジェクト要約] サブページには、[作業ステータス] および [ステータス レポート] ルックアップ フィールドが新しく含まれています。 [ビジネス整合性] サブページには 4 つの新しいポートフォリオ カテゴリ ルックアップ フィールドが含まれています。	O
ステータスレポートサブオブジェクトリストビュー	カスタム	[ステータス レポート] サブオブジェクトには、ステータス レポートがドラフト版か最終版かを識別する [レポートステータス] フィールドが含まれるようになりました。このリストビューは、[レポートステータス] フィールドを含むように変更されています。	O
ステータスレポートサブオブジェクトフィルタビュー	カスタム	[ステータス レポート] サブオブジェクトには、ステータス レポートがドラフト版か最終版かを識別する [レポートステータス] フィールドが含まれるようになりました。このフィルタビューは、[レポートステータス] フィールドを含むように変更されています。	O

名前	タイプ	説明	アクション
ステータス レポート サム	カスタム	[ステータス レポート] サブオブジェクトには、データ レポートがドラフト版か最終版かを識別する [レポート オブジェクトプロパティ ビュー] フィールドが含まれるようになりました。このプロパティ ビューは、[レポートステータス] フィールドを含むように変更されています。	○